



Weekly News

龍ヶ崎中央ロータリークラブ

2012.03.02

No.00692

R I District 2820 CLUB 50504

会 長：城出鴻二郎

幹 事：横澤啓二

連絡先：TEL 0297-66-3258 FAX 0297-66-3280 <http://rcrc.web5.jp>

事務所：〒301-0032 茨城県龍ヶ崎市松葉 5-12-6

例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 (ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎)



本日のプログラム

【会員卓話】03.02
「米島会員」
職業奉仕委員会

次回のプログラム

【外部卓話】03.09
「RA 会員」
社会奉仕委員会

3月の主な行事：識字率向上月間 3月13日:世界ローターアクトの日(週間)

第 691 回例会報告

点 鐘：城出鴻二郎会長

ロータリーソング：奉仕の理想

ゲ ス ト：なし

ビ ジ タ ー：なし

会長報告：城出鴻二郎



■IMの参加、皆さんご苦労様でした。

毎年IM派開催されますが、その時々で状況で、趣向も違うことから、本来的なIMと言う側面も

ありますが、タイムリーな話題に照らしてロータリーを考えることもあってよいと思います。

今回も、まさにその方向での講演でしたが、なかなか難しいテーマでもあり、国家としての所作が求められている中で、ロータリアンとして何に出来るのか、考える機会でもあったようです。

単に義捐金を集めることにロータリーの本質があるわけではありませんし、かといって資金の必要性は重要でもあり、何が求められているのかと言う問いかけにも簡単に答えることが出来ないほど、多様なニーズが今回の大震災にはありました。またこれから多様な隠れた表面化しない困難、国民の苦渋にも対応することがロータリーに求められるのではと思います。それほどに単純な災難ではないということです。ですから、原子力の厄介な部分が最悪の形で発生したのですから、専門的な職業の立場でそれぞれの何らかの役割があるのではと思います。

山口さんとの会話では、少しロータリーから離れた立場で、ロータリーに関わっていた時との違いが良かれ、悪しかれ見えたそうで、ロータリーの形のよさと言うかありようの形態に良い意味での感慨もあったとのことでした。どうもロータリーに限らず多

くの組織が同様の停滞期にあるようで、今回の大震災や高齢化社会の中で、変革の時にあるというようなお話になりました。

そういう意味ではロータリーの形やあり方も変わるべき時にあるようで、本質的なロータリーの特質を再認識すべきでは思います。

IMを通じて他のクラブの皆さんともお話の機会があり、良い時間をいただきました。

■本日のプログラム

2012.2.28

2011-2012 RI2820 地区第7分区
インターシティーミーティング
—博愛を広げるために—

ホストクラブ 竜ヶ崎ロータリークラブ
開催場所 ガーデン邸宅ウェディング「アルシェ」

昨日の雨も嘘のように晴れ、秋の気配を感じる今日、ここ「アルシェ」には7分区の皆さんが一堂に会した。無理にお願いして仲間に加えて頂いた私から、今日の御報告をさせて頂く。

13時30分からの受付開始時間には玄関前には次から次と車の車列が続いた。14時、渡利ガバナー補佐の「点鐘」が参加者の心を掴んでしまう。ユーモア溢れた金子実行委員長の開会宣言に引き続き、国歌斉唱・ロータリーソング「奉仕の理想」が会場内に響き渡った。ここでロータリアンの絆の和はしっかりと結ばれる。



ホストクラブ会長の歓迎の辞、御来賓の方々の御紹介とセレモニーは続き、来賓を代表して 2820 地区大木 勲ガバナー御挨拶を頂き、永井 IM リーダーからお叱りとも言える激励のお言葉を頂いて前段の締めが行われた。

休憩後の 14 時 30 分から [基調講演] を元日本原子力研究所の島崎潤也先生に頂いた。演題が「原子力のことを考える」に設定され、昨年 3 月 11 日に起こった東日本大震災時の福島第一原子力発電所事故の後を受けた時期での御講演とあって、講演の内容を原子力発電の歴史に重きを置いて話された。原子力発電所が実稼動してから 40 余年になる。電力の 30%強を原子力で賄っている今、この歴史を大切に考えてほしいという原子力研究者の祈りとも言える訴えとも感じたが、私だけであろうか。

さて、御講演の中味をどのようにロータリアンが感じたかはお任せしよう。そしてこれから長く続くであろう事故後の汚染との戦いは、今後、我々ロータリアンに何を教えてくれるであろうか。東海村の原子力発電所は 2820 地区内にその施設が存在する。このことについては IM リーダーの永井 PG が少し触れられた。御講演の内容は島田先生が準備して頂いた資料を御参照ください。質問の時間には、核融合炉についても質問が飛び出しました。ロータリーにはいろいろな角度から問題提起ができる方々がいらっしやいますから。

16 時、永井 IM リーダーの総評、次期ホストクラブの紹介、閉会の辞と進み、渡利ガバナー補佐の「点鐘」で式次第は終了です。

この後、懇親会に入りました。ここからは、我が龍ヶ崎中央ロータリークラブのテーブルを囲んだ様子を写真で紹介しましょう。このテーブルには守谷 RC の片桐さんにも御一緒して頂きました。

亀尾さん、お久しぶりです。奥様はお元気でしょうか。大竹さん、議員のお仕事ご苦労様です。城出さん、再度の会長職上手くいきましたか。横山さん、HP の管理や週報の作成で大変ですね。川上さん、少しお疲れの顔ですよ。馬場先生、少しお痩せになりましたか。お酒も控え目に。海老ちゃん、相変わらず女房役をしてくれているようですね。最後に、私もお暇を頂いてから 2 年になります。やはりロータリー時代は充実していましたよ、感謝しています。(週報臨時取材班)



本日出席状況

会 員	20 名	出席率	60.00%
出 席 者	9 名		
出席免除者	2 名	亀尾会員	吉澤会員
(定款第9条3節a)	1 名	馬場会員	
Make-up	3 名	米島、荒木、椎塚会員	

ロータリー豆知識

《 世界ローターアクト 》

(亀尾会員)

3 月 13 日を含む 1 週間を「世界ローターアクト週間」に指定されています。

ロータリークラブ提唱の 18~30 歳迄の、青年男女によって構成される世界的青年団体のクラブで、1968 年に発足しました。目的は、青年男女が個々の能力の開発に当たって、役立つ知識や技術を高め、それぞれの地域社会における、物質的あるいは社会的ニーズに取り組み、親睦と奉仕生活を通じて、全世界の人々の間によりよい信頼関係を推進するための機会を提供することである。ローターアクトの標語「奉仕を通じての親睦」

例会の欠席は、水曜日 AM:10:00 までに川上副 SAA TEL 090-3497-0383 に連絡して下さい。